

☆メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和3年1月5日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第1研修室 ○対象：幼児

《12月のおはなし会で使った本》

『クリスマスのかくれんぼ』（大型絵本） いしかわこうじ/作・絵 ポプラ社 2019

『ぐりとぐらのおきやくさま』（大型絵本）中川李枝子/文 福音館書店 2003

『おすわりやす いすどっせ!』（紙芝居） 長野ヒデ子/脚本・絵 童心社 2018

『ドロロンクリスマス』（紙芝居） いたうかな/絵 教育画劇 2010

当館でのおはなし会のプログラムと関連する絵本を、ホームページ上でも紹介します。おうちでもおはなし会をどうぞ。紹介した本は、「あかちゃん絵本」コーナーで展示しています。

[http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/ohanashikai\\_web\\_202011](http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/ohanashikai_web_202011)

★「令和2年度 第2回学校図書館セミナー」

○日時：令和3年1月30日（土）14：00～16：00 ○会場：山口県立山口図書館 レクチャールーム

○内容：講義「学校図書館とNIE（教育に新聞を）～新聞を活用した学校図書館の活性化～」

講師 河村 宏子氏（周南市立鼓南中学校 校長）

○対象：県内の教諭、司書教諭、学校司書、学校図書館担当事務職員、教育委員会指導主事、公立図書館職員等

○定員：60名（要申込み、先着順）

○申込方法：令和3年1月27日（水）までに、別紙参加申込書によりFAX、電子メール又は電話で

○申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：[a50401@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:a50401@pref.yamaguchi.lg.jp)）

★「子どもの読書」関係ボランティア団体の調査を実施しています

◎詳細はHPで御確認ください。<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/kodomocenter/volunteergroupsurvey2020>

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

＜絵本－乳幼児から＞

『どてっ』 田口麻由/作 布川愛子/絵 エンブックス 2020.10 ¥1200

どっしりとしたタケノコ、倒れると「どてっ」。ぶあつい食パン、倒れると「ぼてっ」。緑の細長いアスパラガス、ピンクの犬のぬいぐるみ、三体のマトリョーシカ、青いながぐつ、それぞれどんなふう倒れるのかな？どんな音がするのかな？倒れた時の様子と、その音を想像しながらページをめくると、楽しさ倍増。赤ちゃん向けのテレビ番組の人気企画を絵本化。

＜絵本－3, 4歳から＞

『のびるじどうしゃ』 平山輝彦/さく 福音館書店 2020.11 ¥900

消防はしご車が火事で出動。高い所に逃げ遅れた人がいる！助けに行きたいけどはしごが届かない。そんな時は、はしごをウィーンと伸ばして救助する。鉄くずを運び出すマテリアルハンドリング車。山の上の鉄くずをつかみたいけれど、上の方がよく見えない。どうする？運転席をギューンと伸ばせばおぼろ、よく見える。車体の一部を伸ばして活躍する働く車たちを紹介する絵本。

＜絵本－5, 6歳から＞

『まどのむこうのくだものなあに?』 荒井真紀/さく 福音館書店 2020.10 ¥1100

「まどのむこうのくだものなあに?」ページの真ん中にあいた窓から、果物の一部がのぞいているよ。赤に黄色のつぶつぶがある果物なあに?うす緑色に白いあみ目模様の果物は?だいたい色に緑のおへその果物なんだ?もじゃもじゃ茶色の毛が生えた果物は?ページの向こうには果物の全体像、ページをめくると断面図がリアルに描かれている。ひとつの果物を色々な角度から楽しめる絵本。

＜絵本－小学校低学年から＞

『こたつ』 麻生知子/作 福音館書店 2020.11 ¥1300

こうたくんの家は、お父さんとお母さんとおばあちゃん、猫のクロの4人と一匹。今日は大晦日。こたつで朝ごはんを食べて、お節料理のこんぶまきやねじりこんにやくを作るお手伝い。年賀状を書いたり、年越しそばを食べたり、ゲームをしたり…。家族が集うこたつを、真上から定点観測しながら描く。家族で新年を迎える喜びが伝わってくる年末年始にぴったりのユニークな絵本。

＜絵本－小学校中学年から＞

『レミーさんのひきだし』 斉藤倫/作 うきまる/作 くらしれい/絵 小学館 2020.11 ¥1400

レミーおばあさんの大切なタンスの一番下の引き出しには、お気に入りの空き箱やガラス瓶がしまわれていた。空のガラス瓶には、手作りのいちごジャムやピクルスが詰められた。ある日、引出しにチョコレートが入っていた茶色の小箱が仲間入り。やがて引出しが空っぽになる冬のマルシェの日が近づき…。優しいレミーおばあさんと引出しの中で出番を待つ空き箱たちの心温まるお話。

＜読み物－小学校低学年から＞

『しゅくだいかなおり』 福田岩緒/作・絵 PHP 研究所 2020.12 ¥1200

小3の4月から新しい学校に通うことになったぼく。始めに声をかけてくれたしんごとすぐに仲良しに。つりが大好きなしんごと鉄道オタクのぼく。趣味は全く違うんだけど。二人で鉄道公園に出かける日、しんごが約束をすっぽかした。謝ってくれたら許すのに、それからは全く挨拶もしてくれなくなって…。ぼくの苛立ちと不安な気持ちに共感できるお話。「しゅくだい」シリーズ6冊目。

#### <読み物—小学校中学年から>

『猫町ふしぎ事件簿 猫神さまはお怒りです』 廣嶋玲子/作 森野きこり/絵 童心社 2020.10 ¥900

たくさんの猫が暮らし、猫にまつわる言い伝えも多い猫町に住む遠矢。幼馴染に頼まれ、オンボロ屋敷の庭に生えていた立派な猫じゃらしを取ってあげた。その夜遠矢は、部屋に現れた猫にオンボロ屋敷に連れていかれ、猫神から、大切な猫じゃらしを取ったことをとがめられる。この怒りを収めるには、3つのおくりものが必要だと言われ…。人気作家の新シリーズ1作目。

『ぼくの犬スーザン』 ニコラ・デイビス/文 千葉茂樹/訳 垂石眞子/絵 あすなろ書房 2020.10 ¥1200

ジェイクはクリスマスが大嫌い。クリスマスが近づくと何もかもがいつもと違ってきて、普段通りの生活じゃなくなるから。学校の日課まで急に変更されてしまうから。そんな落ち着かない気持ちでいたジェイクは、心を穏やかになだめてくれる、迷い犬のスーザンに出会う。生きづらさを抱えたジェイクを温かく見守る家族、そしてスーザンの飼い主の料な計らいが心を打つお話。

#### <読み物—小学校高学年から>

『インディゴをさがして』 クララ・キヨコ・クマガイ/作 早川敦子/訳 横須賀香/絵 小学館 2020.11 ¥1500

色を見つけだし、誘いだすことができる、少女インディゴ。インディゴが住む小さな村は色があふれ、明るく喜びに輝いていた。その噂を聞いた王様は、インディゴに、永遠の命を与える色を捕まえてくるよう命じる。インディゴは、考え抜いて見つけた、空と海、太陽と雨のさかみにある色の中へと進んで行く…。藍色（インディゴブルー）にインスピレーションを得て生まれた物語。

『あしたのことは』 森絵都/作 小峰書店 2020.11 ¥1600

横浜から、父さんのふるさと福岡県へ引っ越した裕は、新しいクラスにうまくなじむことができた。周りは気を遣って優しい言葉をかけてくれる。なのに、なんだかどうも疲れているのは、どうしてなんだろう。作家生活30周年を迎える直木賞作家が「ことは」をテーマに綴る短編小説集。表題作ほか、光村図書小学校教科書「国語6」掲載の「帰り道」など全8編を収録。

#### <読み物—中学生から>

『ウィズ・ユー』 濱野京子/作 くもん出版 2020.11 ¥1300

両親の別居、優秀な兄との比較など、高校受験を控え悶々とした日々を送る悠人は、ある日、夜の公園でぼつんと座る少女・朱音を目にする。毎日ひとり夜の公園にいる少女が気になって声を掛けるうちに、彼女が病気の母を支えながら家事や妹の世話していることを知る。優人は朱音の力になりたいと思うが…。介護を担う若者「ヤングケアラー」をテーマに、中学生の恋愛を爽やかに描く。

『ロイヤルシアターの幽霊たち』 ジェラルディン・マコックラン/著 金原瑞人、吉原菜穂/訳 小学館 2020.10 ¥1600

イギリスの美しい海辺の町シーショーにある、さびれた劇場「ロイヤルシアター」。ここにはいろんな時代の幽霊たちが住みつき、長年お芝居などを楽しんでいた。ある日、この劇場を復興させようと家族がやってきたが、なぜか11歳の少女グレイシーには幽霊たちが見え…。少女を通して幽霊たち一人ひとりの物語が立ち上がり、この町の過去と現在が繋がっていく。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『教科書にのってどうぶつのお赤ちゃん ③シマウマ』 木坂涼/文 村田浩一/監修 偕成社 2020.11 ¥2200

ここはアフリカのサバンナ。大きなおなかのシマウマが1頭、もうすぐ赤ちゃんが生まれるんだね。がんばれ!かあさん。動物の赤ちゃんを取り上げ、その生態や成長の様子を豊富な写真で紹介する。イラスト入りの解説も掲載。小学1年国語科の説明文の学習で活用できる。他に『ライオン』『カンガルー』『オオアリクイ』『シロクマ』『コチドリ』の全6巻。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『調べてみよう!日本の伝統工芸のみりよく』 伝統的工芸品産業振興協会/監修 ポプラ社 2020.10 ¥2900

全国の90品目の伝統的工芸品を、衣・食・住の3つのテーマに分け、歴史や作り方、技法などについて解説。また、最終巻では、伝統工芸品のよさを調べる方法や文章にまとめるまでを紹介。小学校社会科の「伝統的な工業」、国語科の「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習に役立つ。山口県の萩焼、赤間硯が取り上げられている。『織物』『漆器と木工品』等の全7巻。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『サッコ先生と!からだこころ研究所』 高橋幸子/著 リトルモア 2020.11 ¥1300

体が変化し、自分だけでなく、異性のことも気になることだらけ。そんな思春期の入口にいる男の子・女の子に、おへその秘密や、赤ちゃんが生まれる3つの科学など、科学に裏打ちされ、国際基準に照らした「性」の知識をわかりやすく教える。小4の男女2人と、サッコ先生の会話形式で進められる。著者は、思春期外来に勤務し、全国の小中高等学校で性教育の講演を行う産婦人科医。

『今日からなくそう!食品ロス わたしたちができること ③食品ロスとSDGs』 上村協子/監修 汐文社 2020.10 ¥2600

「食品ロス」とは、まだ食べられる食品が捨てられてしまうこと。社会がどのように食品ロス削減の取組をしているか、その食品を利用する仕組みを作り上げているかを、写真やイラストを使ってわかりやすく解説。使用済みてんぷら油を利用して走る車や発電機等、SDGsの観点からの挑戦や、新型コロナウイルス禍での食品ロス削減という新しい情報も掲載。シリーズ全3巻。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『マナーはいらない 小説の書きかた講座』 三浦しをん/著 集英社 2020.11 ¥1600

長年、「コバルト文庫短編小説新人賞」の選考委員をする中で気づいたこと、考えたことを小説家志望の人へ向けて、ざっくばらんな語り口で語る。オードブル、スープ、魚料理など全24皿にお口直しのコラムという構成で、「推敲」「枚数感覚」「人称」「セリフ」など、小説を書く上でのポイントを自作の具体例を挙げながらわかりやすく解説。小説を読むときの参考にもなる。

#### <研究書>

『学び合い育ち合う学校図書館づくり 新しい時代の学びのリノベーション』 稲井達也/著 学事出版 2020.11 ¥1800

これからの社会の変化を見通し、新たな発想で学校図書館の活用に取り組むために、学校図書館に新たな付加価値を与える「リノベーション」を提案する。コロナ禍で学校図書館を運営していくための工夫やアイデア、アナログとICTを活用した子供の学びや読書活動の工夫、さらには、先生のための読書生活ガイドや学校図書館の情報化の進め方など、多方面にわたって具体的に述べる。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。